

08 動物との共生を探究する学問



Goals

学びのキーワード

動物の病気・治療、家畜、ペット、飼育、動植物との共生、アニマルセラピー、繁殖 など

study description

学問の内容

飼育動物から野生動物まで 病気の予防と治療を行う

動物を学ぶ学問の代表として、「獣医学」と「畜産学」の2つがあげられます。

獣医学が、動物の病気の治療や予防医療を行うのに対し、畜産学は、豚、牛など家畜動物の飼育や食用利用について学びます。獣医学が「動物の医学」であるのに対し、畜産学は、「家畜動物の栄養・健康学」ともいえます。

獣医学は、「獣医師」を養成する学問分野です。対象は牛、馬や豚などの家畜のほか、ペットとなる犬や猫などの小動物、鳥類、爬虫類にまで及びます。飼育動物だけでなく、自然環境で暮らす野生動物を見守り、傷ついた動物を保護し、生態系の維持についての研究と実践を行うことも獣医学の役割です。

動物資源の研究・開発や 畜産環境の改善策を考える

一方畜産学は、人間にとって有用な動物を、人間の目的に沿った方法で管理するための学問。「応用動物学」とも呼ばれています。家畜などの動物を飼育し、衛生管理・健康管理を行いながら、資源としての利用方法を研究していきます。食肉や乳製品の加工技術、畜産経営のための経済や経営分野の理論を使った研究も対象。畜産環境の改善に向けて、畜産業の現状を正しく理解し、



畜産物の化学的特性の解明結果や栄養機能の研究結果を、いかに畜産業の現場にフィードバックできるかが求められる分野です。

この学問の必要性

ペット社会の頼れる存在 ウイルス対策の研究も進む

国内の住宅事情や、小型犬の人気上昇に伴い、ペットを屋内で飼育する家庭が急増した昨今、獣医学は、ペットの医療分野でも重要な役割を担い、そのニーズは高まっています。動物の病気の診断や治療、予防だけでなく、不妊処理や、ペットを失ったことによる精神的ショックを意味する「ペットロス」に対するカウンセリング、安全な飼育法の指導など、動物と接する人にまで獣医学の対象が広がっています。

もちろん、人の精神生活に潤いをもたらすペットの健康を維持し、動物との触れ合いを促進して社会に豊かな生命観を根づかせることが、ペット文化における獣医学の大きな使命。人間と動物のよりよい関係を考えていく

ことが、これからの獣医学に求められているのです。

また、鳥インフルエンザや豚インフルエンザなど、動物からのウイルス感染が国境を越えた問題になりつつある今、動物に対して遺伝子操作の先端技術なども駆使する一方、人間と動物が共存するために、グローバルな視野での研究も進められています。

食の安全の実現に向けた 畜産品の品質向上が課題

畜産学では、食の安全が求められている現在、食品への加工技術の向上と生産効率の改善、流通面での品質コントロールに基づいた、食肉や牛乳、鶏卵といった畜産品の品質向上が重要視されています。

また、獣医学と連携して、自然界の動物の生育環境を見守り、動物資源を総合的に保護していく研究や、これまで以上に人間の生活に役立てるための動物を使った多くの研究が進んでいます。実際に、牛や馬、豚などのいわゆる「家畜」のほか、ハチミツをとる蜂や絹糸をつくる蚕など、人間に有用な動物も研究対象となっています。

大学での学び

動物を全方位から診断し 治療させる技術を養う

獣医学の修了年限は6年。まず生物学や生理学、生化学の基礎知識を幅広く学んだうえで、動物の身体の構造や機能を理解していきます。動物の病気の原因と症状、微生物や寄生虫、薬の効能などについても学び、診断と治療の実践方法なども習得します。

また、牛や馬などの家畜を中心とする「大動物」と、犬猫などのペットを中心とする「小動物」という生物種別に学びを深めるのが一般的です。実習内容のひとつが解剖。筋、神経、血管、内臓などの構造を確認し、顕微鏡を使用して細胞組織の観察なども行います。

基本的な理論や治療技術などの学習方法は、人を対象とする医学との共通点が多い学問です。座学だけでなく実習が不可欠であり、牧場や動物病院など、獣医学の学習に特化した施設でフィールドワークを行います。

その他、動物の行動心理を考察し、動物の権利を考え、人との関係を見直そうという科目もあります。

薬学や生物学、動物学も関係する領域もあり、人間にも感染する動物のウイルスの研究や、バイオテクノロジーを駆使した動物繁殖の研究も対象です。ときには実験動物の命を預かって研究を進めることもあります。

動物の専門知識をベースに ビジネスへの応用策を探究

畜産学では、家畜の繁殖や品種改良のための遺伝子研究、飼料の開発をはじめ、飼育環境の整備と衛生、食品への加工、流通などを全般的に学習。はじめに、動物に関する生物学、化学、医学系の基礎理論を幅広く学びます。家畜の計画的な飼育と、品質の向上をめざす育種や繁殖、飼育環境の衛生面や栄養管理についても知識を深め、家畜飼育の現場や放牧場などでの実習も行われます。

学びの先には、畜産品の化学的的特性や栄養機能、畜産品の生産・流通・販売・消費の過程にある諸問題を明らかにして、畜産業経営のあり方を探ったり、食肉や牛乳、鶏卵、皮革などの畜産品の品質と生産効率を向上させることも期待されています。

資格や進路

民間企業から公的機関まで 多彩なフィールドで活躍

獣医学を学んだ学生は、獣医師として動物病院に勤務し、将来的に独立開業する人や、公務員として畜産試験場や保健所などで働くケースもあります。動物実験が必要とされる製薬会社や食品メーカーのほか、動物園や民間の研究機関で活躍することも可能です。

畜産学を専攻した学生は、「家畜人工授精師」という資格をめざすほか、食品や飼料のメーカーなどへの就職が目立ちます。また、動物園や観光牧場に就職する事例もあります。最近では、ペットの品種改良を行う専門業務や、ペットフードやペット用品などを開発する製造業など、ペット業界が大きく成長しています。畜産学を学んだ先の進路は、ペット産業という新しい領域にも広がっています。



こんな人に向いています!

どちらの分野も 動物への愛情が大前提

家でペットを飼っていた経験があり、動物との触れ合いや交流が人間に与える心理的影響を身をもって知っている人にはぜひ学んでほしい分野です。

獣医学を学ぶにあたっては、動物の命を救いたいという思いが何よりも大切。また、ペットがストレスなく人間とともに快適な生活を送れるよう努力できる人が向いています。

畜産学の場合は、動物の生命と人間の関わりについて深く考察することができる人に向いているといえます。人々の食の安全への関心はさらに高まることが予測されるため、今後もニーズが高い分野になるでしょう。

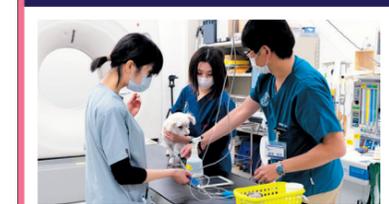
なお、農学系の学部群の中でも、女子学生がより多く在籍する傾向にある点も、獣医学・畜産学の特徴です。



一定の志願者を集めつつも、緩やかな減少傾向がみられる獣医学系統。しかし農学系統の中でも倍率が最も高い分野でもあり、学科によってその難易度が大きく異なるため、学びの内容をしっかりと調べてから志望校を絞り込みたい。中でも獣医学は難易度が高く、数学や生物を中心に受験準備を

しっかりとて臨みたい。ひと言に獣医学といっても、上記の解説のとおり、人間や社会、環境領域まで、動物と人間の関わりの中にある課題に広く目を向ける必要があり、研究範囲も拡大している。自分が学びたい分野があるかどうか、実験や実習や施設設備が充実しているかなどもしっかり調べよう。

獣医療や動物応用科学で社会に貢献する
獣医学部
獣医学科
獣医保健看護学科
動物応用科学科



学びのポイント

▶ 獣医学科 / 獣医保健看護学科

高い倫理観と最先端の獣医療技術を有した「獣医師」「愛玩動物看護師」を育成

キャンパスに附属動物病院や産業動物臨床教育センターがあり、学内で小動物と産業動物どちらも臨床経験を培うことが可能です。獣医療現場で、動物のいのちと向き合う獣医師や愛玩動物看護師を養成します。

▶ 動物応用科学科

動物に関するさまざまな学びにより、多様な進路がめざせる

獣医学科との違いは、治療行為を行うか否か。動物応用科学科の学びは動物に関する、それ以外のすべてのフィールドが対象です。幅広い学びにより、さまざまな知識や経験を積み、畜産から医薬品、食品業界まで多様な進路をめざすことが可能です。

麻布大学
AZABU UNIVERSITY

〒252-5201
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
TEL 042-769-2032(入試広報・渉外課)
http://www.azabu-u.ac.jp



主な設置大学と学部	
国立	帯広畜産大学 畜産学部
	北海道大学 農学部
	獣医学部
	東北大学 農学部
	岩手大学 農学部
	東京大学 農学部
	東京農工大学 農学部
	岐阜大学 応用生物科学部
	神戸大学 農学部
	広島大学 生物生産学部
山口大学 共同獣医学部	
九州大学 農学部	
宮崎大学 農学部	
鹿児島大学 共同獣医学部	
酪農学園大学 獣医学類	
私立	北里大学 獣医学部
	東海大学 農学部
	農学部
	東京農業大学 生物産業学部
	日本大学 生物資源科学部
獣医学部	
応用生命科学部	
日本獣医生命科学大学 獣医学部	
麻布大学 獣医学部	
岡山理科大学 獣医学部	

※2025年度入試の大学名、学部名です。 など